

令和5年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

重文 紙本墨画花鳥図〈能阿弥筆／〉ほか1件 美術工芸品保存修理事業概要

【事業目的】

展示・公開を安全に行なえる状態にすることを旨とし、経年による損傷について補修を施すことで、将来にわたる安定した保存および多様な活用に供する

【全体の事業期間】

令和4年度から令和6年度までの3箇年（2箇年目）

【文化財の名称】

重要文化財 紙本墨画花鳥図〈能阿弥筆／〉 四曲一双
重要文化財 絹本着色更衣美人図〈喜多川歌麿筆／〉 一幅

【事業体制】

補助事業者 公益財団法人 出光美術館
請負事業者 株式会社 修護

【本年度総事業費および補助金額・補助率】

| | | | |
|----------|------------|-----|-----|
| 総事業費 | 6,597,401円 | | |
| 国庫補助金 | 3,628,000円 | 補助率 | 55% |
| 東京都補助金 | 1,632,000円 | | |
| 補助事業者負担金 | 1,337,401円 | | |

【本年度修理内容の概要】

昨年度に引き続き、本紙に付着している汚れおよび酸化物を除去し、本紙の旧肌裏紙も除去した。そして、本紙料紙の調査に基づき補修紙を欠失箇所に補填し、本紙および新調した表装裂地に肌裏打・増裏打を行った。さらに、屏風下地を作製し、必要に応じて補修紙に補彩を施した（中途）。

【活用の予定】

修理完了後、数年の間に公開する

【修理・活用のイメージ】



(修理前)



(修理中)



(活用) 過去の展示風景



制作：公益財団法人 出光美術館

本事業は、文化庁美術工芸品国宝・重要文化財等保存・活用事業費国庫補助金の交付を受けて実施されています

Supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal 2024